

「米英の核兵器増強は違法で不道徳」

アリシア・サンダース-ザクレとのインタビュー

デモクラシー・ナウ 2021年3月18日

アリシア・サンダース-ザクレ： 2017年にノーベル平和賞を受賞した核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)の政策・研究コーディネーター

1. イントロダクション

米英両国が相次いで核兵器の増強に動き、国際的批判を浴びている。米国は、広島型の20倍の強度をもつ核弾頭を搭載して6,000マイルを飛ぶ新型核ミサイルの開発に1000億ドル(11兆円)を費やす計画だ。地上戦略抑止力(GBSD)とよばれる核兵器増強計画のコストは、今後数十年間で2,640億ドルに膨れ上がる可能性があり、その多くはノースロップ・グラマン、ロッキード・マーティン、ゼネラル・ダイナミクスなどの軍事企業に支払われる。

一方、英国のジョンソン首相は、核備蓄の上限を引き上げ、トライデント核弾頭の数を40%以上増やす計画を発表した(3月16日)。これは、英国がこれまで30年間、段階的に行ってきた核軍縮を終わらせるものだ。

国連事務総長のスポークスマンは、英国の決定は核不拡散条約(NPT)に違反すると、以下のように批判した(3月17日)。

ステファン・デュジャリック国連事務総長スポークスマン 英国の決定は、NPT第6条に基づく核保有国の義務に反し、世界の安定と核兵器のない世界を求める努力に有害な影響を与える可能性がある」と懸念を表明する。核兵器のリスクが冷戦以来よりも高い時代にあつて、軍縮と軍備管理への投資こそ、世界を安全にし、核の危険を減らすための最良の方法だ。

エイミー・グッドマン(司会者) これらの動きは、核兵器禁止条約が発効してから2ヶ月も経たないうちに起こりました。条約には50カ国以上が批准していますが、英国、中国、フランス、インド、イスラエル、北朝鮮、パキスタン、ロシア、米国の9カ国は参加していません。2017年にノーベル平和賞を受賞した核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)のアリシア・サンダース・ザクレ政策・研究コーディネーターにききます。英米のこれらの動きをどうみますか。

アリシア・サンダース・ザクレ とても深刻で懸念すべき動きです。両国の動きは互いにリンクしていると考えられます。つまり核兵器禁止条約の発効にあらわれた核兵器の完全廃絶という世界の動きにたいする核保有国の団結し統一した対応だからです。

英国による核弾頭の上限引き上げは無責任で反民主的な動きです。国際法違反で、全く容認できません。核兵器禁止条約に体现した国際世論に挑戦するもので、国内外で批判されているのは当然です。

同様に、米政府が核兵器の再構築を引き続いて進めています。その一つが、1000億ドルをかけておこなう新しい大陸間弾道ミサイルの開発です。2075年まで残存するよう計画されています。というわけで、両方とも核兵器の撤廃と核兵器禁止条約に定められた世界の人々の願いに対抗した、米英両国の長期的な決意の表れとみることができます。

ネルミン・シャイフ(司会) 英首相が作成した(新しい核兵器増強計画の)報告書は反民主的だと英国内でも非難をあびていますね。トライデント核弾頭の上限を40%の増加する計画は元にもどせないのでしょうか。それはブレグジット(英国のEU離脱)と関係があるのでしょうか。ブレグジット後の将来と英国の世界的な役割のための計画なのでしょうか。

アリシア・サンダース-ザクレ 元に戻せないことはありません。このことを強調することは本当に重要だと思います。この決定は、統合レビューと呼ばれる防衛・外交政策の見直しから生まれました。その見直しは、もともとは非常に未来志向の前向きで、冷戦後の新しい政策になるはずでした。2020年代半ばまでに核の上限を180発に減らすことを公に約束していたのです。ところが実際この報告書に現れたのは核弾頭の上限を増やすという、本当に危険な冷戦思考への回帰でした。しかも戦略的環境の変化というだけで、なんらの正当な根拠を示すことなく、上限を引き上げる選択をしました。

ですから政治的な決断であることは明らかだと思います。ジョンソン政権の政治的アジェンダ、また多くの点で新型核兵器開発を検討していたトランプ前政権のアジェンダと結びついている可能性があると思います。これらは国際法や核兵器に関する国際世論を完全に無視するものです。しかし重要なことは、これは政策見直しの産物であり、国内外の国民の圧力によって、この決定を取り消し、代わりに核兵器禁止条約に参加する措置を取ることができるということです。

エイミー・グッドマン ジョンソン首相がイランの核開発に懸念を表明した同日に核兵器増強の決定を発表したことで、イランはジョンソン首相を、「全くの偽善」と非難しました。イランのザリフ外相は、「英国や同盟国とは異なり、イランは核兵器とすべての大量破壊兵器は野蛮であり、根絶されなければならないと考えている」と述べました。あなたはどう思いますか。

アリシア・サンダース-ザクレ:核兵器の問題に関して特定の核武装国を特別扱いするのはずっと問題だったと思います。英国と米国はその代表格です。彼らは、自分たちは正当で責任ある核保有国であるといって、北朝鮮のような最近の核武装国には反対しています。

これはウソであることを最近の動きは示していると思います。すべての核兵器保有国は、本当に、世界に対して前例のない非人道的結果を与える破壊的で容

認できない力を持っています。そして、核武装国家はどの国であれ、核兵器禁止条約によって最近、非合法化された行動に関与したことで非難されるべきです。どの国であろうと、核兵器を開発し、生産し、備蓄し維持することは違法であり、道徳に反します。

(翻訳: 田中靖宏)